

CSR REPORT

2019

株式会社 **ユ-シン**



u-shin

04 TOP Message

06 **特集 01**
地域社会に根付いた生産
中国 無錫工場が始動

08 **特集 02**
ユーシンの技術が実現する
新たな自動車部品

10 ユーシンのCSR

11 ENVIRONMENT
環境

13 EMPLOYEE
従業員

15 CUSTOMER
お客様

15 CLIENT
取引先

16 SOCIAL CONTRIBUTION
社会貢献

17 GOVERNANCE
ガバナンス

18 COMPLIANCE
コンプライアンス

19 財務ハイライト・
ネットワーク

OUR POLICY

信頼される人となり、
信頼される企業となる、
そして競争力のある企業 となる。

日本品質の「モノづくりプライド」、それが当社の強みです。
粘り強く諦めない研究開発力、要素技術を生かす卓越した技術力、低コスト高品質を実現する製造力、真摯に取り組む改善活動、そして何より、プロフェッショナルとしての社員一人ひとりの責任感と向上心。私たちユーシン社員には、絶対に良い製品を作るという信念とプライドがあります。

会社概要

社名	株式会社ユーシン (U-Shin Ltd.)
本社所在地	〒108-8330 東京都港区三田3-9-6 TEL: 03-6758-6833 (代表) FAX: 03-3452-4680
創立	1926年7月1日
代表者	代表取締役社長 社長執行役員 岡部 哉慧

資本金	152億6百万円
事業内容	下記1~3のソフト・ハード両面の開発・設計、製造、販売及び輸出入、海外生産ほか 1.自動車・産業機械用及び住宅関連の各種システム機器と制御装置 2.自動車・産業機械用及び住宅関連の機構・電装各種装置、部品 3.新規分野向け電波応用システム
従業員数	8,651名 (臨時従業員を含む) (2018年12月31日現在)

編集方針

当社のCSRに対する取り組みを、ステークホルダーの皆様にご理解いただけるよう、2018年度よりCSRレポートを発行してまいりました。2019年度では2018年度から稼働を始めた無錫工場におけるCSRの取り組みや当社の自動車部品が実現する様々な可能性について特集を構成し、当社の技術力や取り組みについて紹介しました。また、2018年度版からの情報開示の拡充という点を意識し、各ステークホルダーに対する取り組みについて、掲載情報を拡充し、積極的な情報開示を心掛けました。

対象期間

2018年度(2018年1月1日~2018年12月31日)を中心に、一部それ以外の期間の活動についても記載しています。

報告書の対象範囲

ユーシンの取り組みについて報告いたします。

発行時期

2019年3月

TOP Message

“真摯なモノづくり”を通じて 社会に価値を提供する



代表取締役社長 社長執行役員

岡部 哉 慧

ユーシンは、創業1926年以来、「信頼される人となり、信頼される企業となる。そして競争力のある企業となる」を経営理念に掲げており、グローバル企業の一員として、事業活動を通じて、社会の安定的・持続的発展に貢献することを目指しております。

当初は自動車部品の製造から始まった当社も、その技術力を生かし、産業機械部門、住宅機器部門へと拡大し、製品を通じて、新たな価値をお客様に提供することを目指して進んでまいりました。

経営環境、ニーズや市場競争も目まぐるしく変化する中、我々が日本で培った「モノづくり」の精神を海外へと展開し、新技術の開発や付加価値の創造はもちろんのこと、新市場への参入も視野に入れています。今後は、「モノづくり」そのもののノウハウ、システムといったソフト面の商品開発も踏まえ、幅広い製品ラインナップを展開できる技術力・開発力を発揮し、グローバルなサプライチェーンを構築することでお客様のニーズに最大限応えていく次第であります。

また、未来への投資として、自動車生産の増加やシェアの伸長に伴い将来の受注に依拠していくため、2017年中国における新生産拠点として無錫工場を設立しました。当工場は、2018年4月より稼働を開始し、既存工場より3割も高い生産能力を実現しています。

「良いものをお客様に届ける」と「利益を出す」ということを基準に“真摯なモノづくり”で適正価格で販売すること。そのためには、生産の無駄を省き、コストを抑える。基本的なことではありますが、改めて全社員が徹底できるように取り組んでいます。

企業統治においては、社会から信頼される企業になるため「法令の遵守とガバナンスの強化」に取り組んでいます。2018年1月には執行役員制度を導入し、経営の意思決定及び業務執行機能を分離し、経営の合理化と効率化を図りました。また、業務執行者への監督機能の強化をはじめとするコーポレートガバナンス・コードに準拠したガバナンス強化に寄与することを目的として、2018年3月より監査等委

員会設置会社へ移行しました。

自動車業界は、CASE(Connected、Autonomous、Shared、Electric)と呼ばれる100年に1度の大変革期を迎えています。また、農機・建機、住宅機器、工作機械業界もIoT、IoEといったデジタル革命が急速に進んでいます。中期計画「飛躍へのターンアラウンド」で掲げている次世代製品・高付加価値製品を早期確立し、大変革期がもたらす脅威を機会に変えて飛躍的な成長につなげ、さらなる企業価値の向上を目指してまいります。

国際社会は、パリ協定の発効や国連SDGs(国連の持続可能な開発目標)の採択など、地球環境の保全及び人類の持続可能な発展に向けて加速しております。当社も事業を通じて環境・社会問題等の解決に貢献し、持続可能な社会の実現へ向けて、あらゆる可能性に挑戦していきます。ステークホルダーの皆様におかれましては、引き続き、ご理解とご支援のほどよろしくお願いいたします。

地 域 社 会 に 根 付 い た 生 産

中国 無錫 工場が始動



ユーシンでは2018年4月より新たな生
始めました。無錫工場は自動車のカギや
ていた組み立て工程を内製化しながら
を導入し、受注増に柔軟に対応できる体
従来よりも3割程度生産効率を向上さ

産拠点である中国の無錫工場が稼働を
ドア関連の部品の生産において、外注し
生産ラインを整理。さらに、自動化設備
制を構築しました。新たな工場設備では
せることが可能になりました。



環境配慮型の工場として

廃棄物の分別

廃棄物は現地の法律等によ
り分別・廃棄することはもち
ろん、自社において分類項目
を追加して分別廃棄を行うこ
とを徹底しております。



廃洗浄液 リサイクル設備

廃洗浄液リサイクル設備を導入
し、洗浄液使用量を抑制し廃洗
浄液の量を減らすことで、環境
に優しい工場の実現に向けて
取り組んでいます。



太陽熱温水装置

当工場の食堂の屋上に太陽熱
温水器を設置。少しでも消費エ
ネルギーを削減し、有効活用す
ることを目指して、電力節約に
取り組んでいます。



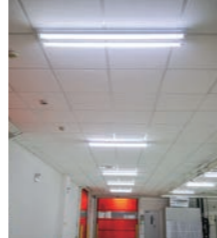
雨水のリサイクル

工場内において面積約100m²
の雨水収集池を設置していま
す。収集した雨水は芝生用水と
して使用し、水資源の有効活用
に取り組んでいます。



LED照明

LED照明を全体で使用すること
により、これまでの工場にお
ける電力利用の約50%をカット。
エネルギー効率の向上に
努めています。



ISO14001

ISO14001新バージョンの審査を受け、認証を取
得。各工程においても厳しい基準を設け、安全で安
心な工場運営に努めています。

従業員とともに運営する無錫工場

通勤バスの運行

工場に勤める社員の安全性を考慮し、出勤・退勤時に通勤
用のバスを運行。社員の半数以上が利用しています。



身体障がい者と一緒に

当工場では身体障がい者雇用にも力を入れており、2018
年度時点で10名が勤務しています。



無錫工場で生産している代表的な製品



ドアハンドル

自動車のドアを開け/閉めする際に操作するハンド
ルです。操作部品であると同時に、見た目のデザ
イン性も重視され、要望に応じて表面は塗装
やメッキ等の処理が施されます。



ESCL (電動ステアリングロック)

自動車のステアリング部に取り付けられる盗難防
止のための製品です。ステアリングを回転可能、あ
るいは不能にします。スマートキーの普及により、
キーシリンダーのない電気式ロックとなっています。



ドアラッチ

自動車のドアに取り付けられ、ドアを確実に閉ま
った状態に保持する、あるいは保持状態を解除して
ドアを開けることができるようにする製品です。こ
の製品は、中国市場向けに開発されたものです。

ユーシンの技術が実現する 新たな自動車部品

当社はモノづくりにこだわり、「良いものをお客様に届ける」という考えのもと、日々研究開発に注力し、自動車部品メーカーとして、最終的な利用者の利便性・安全性向上に貢献できるように取り組んできました。今後も車だけを見るのではなく、社会、消費者の本来のニーズに注目し、何よりも使って楽しいユーシンらしい製品づくりに注力してまいります。

U-Shin's TECHNOLOGY

01

独自技術を生かした「PCS」

PCS(パワーロージャーシステム)は、5ドア等の車両のリアゲートの開閉時に起動するシステムで、当社はこれを構成する全ての製品を独自技術により開発しています。これまでの技術では、リアゲート自体のロックとアンロックまではできましたが、ラッチを解除してからはユーザー自身でリアゲートを持ち上げる必要がありました。当社が開発したシステムは、従来の技術からさらに自動でリアゲートの開閉まで行うというものです。車両とリアゲートの間にあるピストン状の部分にモーターを搭載し、その回転力でリアゲートを自動で上まで上げることを可能にしました。閉める際もボタン一つでモーターが逆回転

し、最後のロックまで自動で行えるようになりました。また、この装置にStep Gateというセンシング技術を組み合わせました。これは、ユーザーが後方から車両に近づくと、足元にスポットライトが照射され、それを踏むことで足の動きを検知して、リアゲートの開閉を行うというシステムです。このシステムを使用することで、赤ちゃんを抱いた方やお年寄りなどでも手を使わずに簡単にリアゲートを開閉できるようになりました。すでに次を見越した技術として、「手を上げる、下げる」という非常に簡単で感覚的なアクションでリアゲートを開閉できるジェスチャーセンサーも開発中です。

利用イメージ

Step Gate



ライトを踏む



ライトから一歩下がる



リアゲートが開く

ジェスチャーセンサー



上方向へ手を移動させる



リアゲートが開く



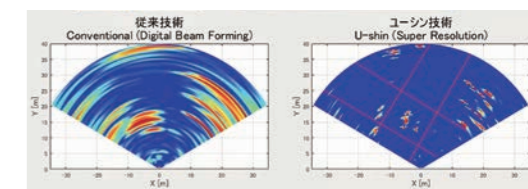
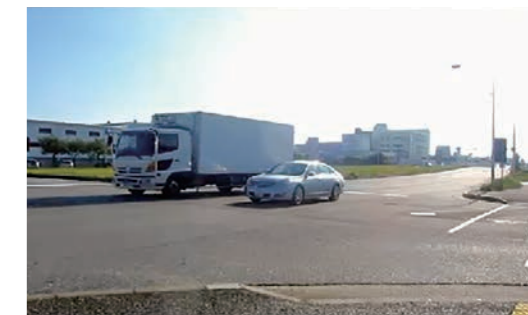
オートクローズ

02

自動運転の可能性を高める「ミリ波レーダー」

ミリ波レーダーは、人間の目に代わるセンサーの一つとして使用され、近年話題の自動運転に欠かせない技術です。これまでもミリ波レーダー技術は開発されてきましたが、実際の解析能力には課題が多くありました。当社はアルゴリズムに工夫を施すことで、その解析精度を向上させることに成功しました。この技術を利用することで、自動運転の際の障害物の感知や

制御能力の向上を実現しました。今後は事故の防止や、モビリティ社会の実現に貢献していきます。また、この技術は自動車だけでなく、産業機器の分野やインフラの分野でも生かすことができます。例えば、工事現場で作業時に対象物を正しく感知することで、作業者の安全を確保したり作業精度を向上させることが可能です。



03

利用者にさらなる 利便性を与える「E-ラッチ」

E-ラッチは、車両のドアの開け閉めを電動で行う製品です。例えば、アウターハンドルのグリップを軽く握ることで自動でドアのラッチを解除します。ドアを閉める際も、半ドアの状態まで閉めると自動で完全ロック状態まで閉めることができます。また、アウターハンドルを普段はドアパネル内に格納することに

より、車両のデザイン性と空力特性を向上させることに成功しました。電動化という特徴を生かし、より軽い力でドアの開閉ができるようになることで、福祉車両や介護の必要な方、お年寄りにとって使いやすい車づくりに貢献できると考えています。

利用イメージ

ドアを開ける



ドア閉状態



フォブキーを持った人がハンドルに手を入れる(裏側に触れる)



E-ラッチが解除する



ドアを開ける

ドアを閉める



ドアを閉める



半ドアからは自動的に引き込みます(普通に閉める事もできます)



ドア閉状態(アンロック状態)

ユーシンではステークホルダーの皆様とより良い社会づくりを実現するためにCSR活動を推進しています。CSR方針に基づいて、様々なステークホルダーに配慮した事業活動を通じ、今後も持続可能な社会の実現のために価値を提供することで、成長を実現してまいります。

企業理念の実現



CSR方針

ユーシンは、経営理念に「信頼される人となり、信頼される企業となる、そして競争力のある企業となる。」を掲げております。国内・外の法令遵守とガバナンスの強化に更に取り組み、業務で係わるすべてのステークホルダーの期待に応え、これからも「信頼される企業」であり続けられるよう努めます。また、グローバル企業の一員として、事業活動を通じて、社会の安定的・持続的発展に貢献することを目指します。

1 人づくり

社員一人ひとりが、生き生きと働きがいのある業務活動等を通じて、社会貢献できる人材育成に取り組めます。

2 企業づくり

お客様が安全、安心した生活ができるという期待に応えられる製品を開発・提供いたします。全てのステークホルダーと公平・公正かつ透明性のある関係を築き、国内・外において、各種法令等を遵守した企業活動に取り組めます。

3 環境への配慮

より良い地球環境の実現に向けて、環境に与える負荷を低減し、限られた資源を有効活用しております。

より良い地球環境の実現に向けて、環境負荷を低減し、限られた資源を有効活用するよう心がけ、取り組みを進めています。

環境マネジメント体制

環境方針

地球環境の保全が人類共通の最重要課題の1つであることを認識し、開発・設計から製造・販売に至る当社内の事業活動の中で、環境への負荷低減に取り組めます。

1. 環境に関する法規制及びその他の協定を遵守いたします。
2. 環境目的・目標を設定し、全社で取り組むと共に定期的に見直しいたします。
3. 環境に配慮した製品の開発・設計及び生産活動の中で、特に次の項目について重点的に取り組めます。
(1)天然資源の枯渇を防ぐための省エネ、省資源化。
(2)生産設備等の管理徹底による汚染の予防。
(3)廃棄物・排出物の削減。

環境目標

省エネ法に準じて活動や取り組みを選定し、実行しています。

【省エネ法概要】

- ・事業者は、地球温暖化対策推進のため、省エネルギー対策を強化することが必要。
- ・エネルギーを使用して事業を営む者は、省エネ法のもとエネルギーの使用の合理化に努めなければならない。努力目標として年平均1%以上、エネルギーの効率化が必要。

環境教育

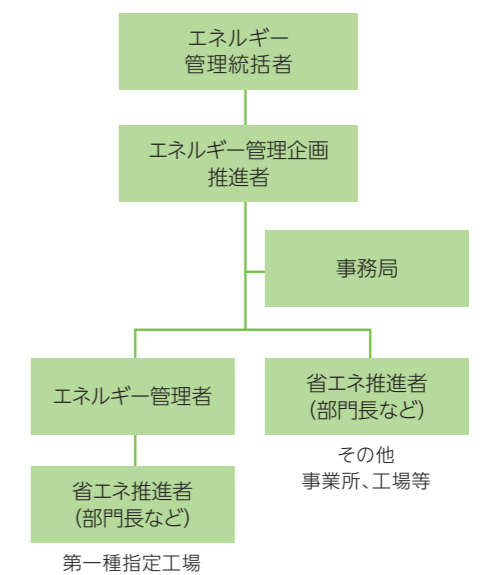
環境マネジメントの一環として工場勤務する社員には、環境に関する研修を行っています。自身の業務と環境がどのように関連しており、どういったことに注意すべきかを学びます。

ISO14001の取得・運用

広島工場をはじめ国内子会社・海外工場合計14拠点において、環境マネジメントシステムISO14001を取得し、環境目標や環境方針に基づいた取り組みを徹底しています。定期的に内部監査を実施し、客観性の高い環境マネジメントシステムを構築・運用しています。

エネルギー管理体制

組織として環境目標を実現するために管理体制を構築し推進しています。また、拠点ごとに年間目標、具体的な取り組みの策定、3か月ごとに実績管理を行う等、エネルギーの使用の合理化に取り組んでいます。



資源の有効活用の取り組み

車の外板部品(アウターハンドル)塗装の生産において使用する固定治具を産業廃棄物の再利用を可能にした樹脂製にしています。また、塗装工程においても生産過程で使用するシンナーをリサイクル利用するため「シンナー再生装置」を導入し、廃棄物の低減を行っております。

環境負荷物質削減の取り組み

工場で発生する廃水は、処理場にて工程廃水ごとに分別処理を行っています。排水の際は有害物質等の有無を分析して異常がないことを確認したのち放流するというバッチ方式により、安全性を担保しています。

製品における環境への取り組み

環境に適合した製品設計の一環として、樹脂部品の軽量化や金属部品の薄肉化等を図った設計を行うことで燃費向上等CO₂排出削減に努めています。

人材を重視し、従業員が働きやすい環境をつくることで
企業価値を高める基盤ができると考え、取り組んでいます。

2018年の実績

エネルギー効率化のため、拠点ごとの目標設定・進捗管理、マニュアル・手順書にのっとりた取り組み等の、省エネ活動を行っています。

2018年度(2017年4月～2018年3月)においても全社・広島工場において様々な取り組みを進め、前年比総使用量3.7%削減、工場原単位10.0%削減を果たしました。

また、各拠点においても目標設定や設備の管理・安全対策を促す等の省エネ活動を行っています。

省エネの取り組み

●屋外排気の実現

溶解炉の熱を効率的に放熱するため、電気溶解炉3カ所、ガス溶解炉6カ所に煙突排気装置を設置しました。これによって、熱を持った空気を直接屋外へ排出できるようになり、熱の屋内滞留が改善されました。



●設備冷却水ポンプの省エネを実現

広島工場では、省エネ部会を中心とした定期的な工場巡視を行うことで、エネルギー使用における無駄の発見と改善に努めています。その一例として、設備冷却水の循環に使用しているポンプの発停回数、制御水量のバランスを見直しました。

ポンプは不要時の運転停止が省エネにつながる一方、起動時には最も電力を使用します。発停時間、制御水量のバランスを見直したことで、省エネと共に機械寿命の延命を図っています。

2018年度の活動

- ・ マニュアル、手順書にのっとりた取り組み
- ・ 省エネ啓蒙活動(各種案内、ポスター掲示)
- ・ 設定温度の管理
- ・ 休憩時間等不要時の照明/エアコン停止
- ・ クールビズ、ウォームビズの実施
- ・ 時間外労働削減による節電
- ・ 施設・レイアウトの見直し等によるエネルギー効率化
- ・ 一部設備入れ替え・移管
- ・ グリーンカーテン
- ・ サーキュレーター併用
- ・ グリーンIT(TV会議、電話会議等)

◆広島工場

- ・ LED照明
- ・ センサーライトの設置、断熱効果を高めた建物構造
- ・ エアコンプレッサーの集中管理及び台数制御
- ・ 太陽光発電

TOPICS

広島工場の太陽光発電

広島工場は、環境に優しい(ECO)工場として、事務棟の屋上に太陽光発電システムを設置しています。太陽光による発電状況は、エントランスホールモニターで確認できるようになっています。また、発電した電力は電力会社へ売却しています。



広島工場の太陽光発電パネル



システムモニター画面

人権の尊重

人権の尊重が持続可能な社会実現に不可欠と考えています。こういった考え方のもと多様性を認め、関連するステークホルダーに対して、不平等・不公平がないよう取り組んでいます。また、こうした取り組みにより、当社に関わる全てのステークホルダーが安全・安心な生活ができるように配慮しています。

労働慣行

社員一人ひとりが、やりがいのある業務に安心して取り組み、社会に貢献する人材へと成長することは当社にとって企業の成長に繋がる重要事項です。

そのために従業員の育成や環境を整えることに重点を置き、取り組んでいます。

安全衛生への取り組み

「安全最優先を基本とし、安全な職場作りをめざす」を安全衛生基本方針とし、従業員が安全・安心に仕事ができる環境づくりに努めています。

毎月、安全衛生委員会で討議し、データベースを活用した情報展開をすることで、安全環境の確保と労災の防止を図り、また、特に広島工場ではリスクアセスメントを活用した職場改善、作業環境測定により、就業環境の改善を行っています。また、法定の健康診断の実施を徹底すると共に、長時間残業の抑制と産業医と連携した健康増進活動を行っています。教育面では、雇入れ時の安全衛生教育の実施徹底はもちろん、業務上必要な法定資格の取得に取り組んでいます。

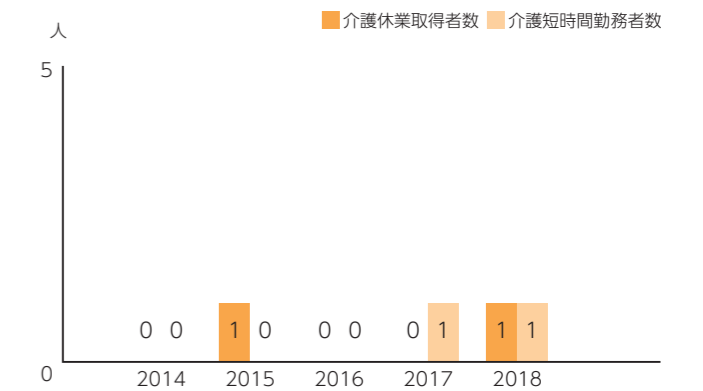
健康増進

従業員が健康を維持増進できるように、定期健康診断の100%受診を徹底し、産業医や医療機関と連携を図っています。また、従業員自身のストレスへの気づきを促すため、ストレスチェックを実施しています。

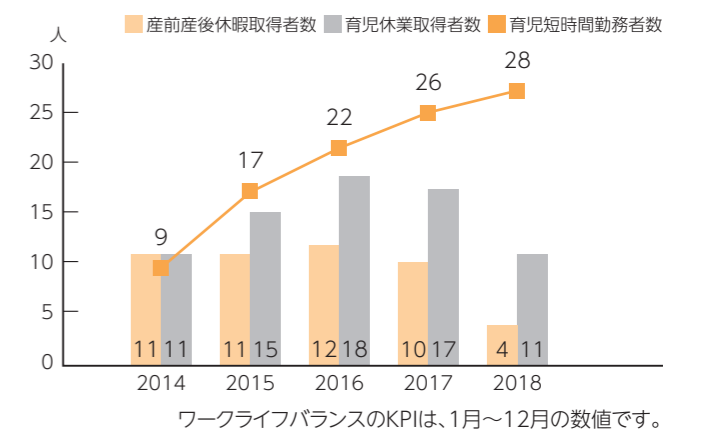
ワークライフバランス

ワークライフバランスを重視した働き方ができるような環境づくりに努めています。仕事と介護の両立のための取り組みとして、介護休業や時短・時差勤務制度を設け、従業員が安心して働き続けることのできる環境を整備しています。また、育児休業や子の看護休暇制度に加え、子が小学3年生になるまで利用できる時短・時差勤務制度を設ける等、子育て支援の充実も進めています。

介護休業取得者数・介護短時間勤務者数



産前産後休暇取得者数・育児休業取得者数・育児短時間勤務者数

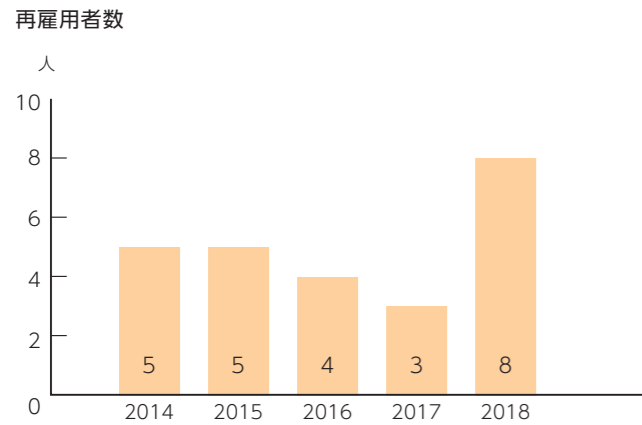


ダイバーシティ

多様な視点を生かす組織の実現に向けて、性別・国籍・年齢を問わず優秀な人材を積極的に登用し、適所に配置することで、世界の顧客の求める多様なニーズに対応しています。女性活躍については、行動計画を定め、性別や年齢にかかわらず貢献度に応じて処遇する「同一価値労働／同一賃金」を原則とした完全実力主義の徹底を目指しています。行動計画に沿って、公正な給与や評価の実現、労働環境の整備、従業員のキャリアアップに対するフォロー等、具体的な取り組みを進めています。

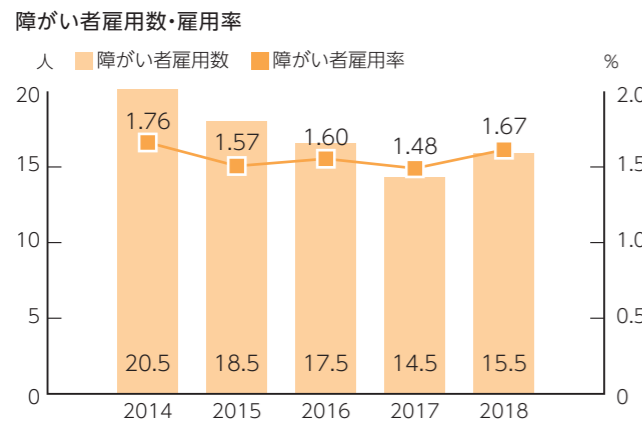
定年退職者の再雇用

定年後65歳まで働くことができる再雇用制度を導入しています。労働意欲に富んだ方の、いままでに培った技術・知識・スキルの伝承を図っています。



障がい者雇用

2018年度の障がい者雇用率は、1.67%と前年より微増であったものの、法定雇用率の2.2%を達成することはできませんでした。法定雇用率を下回っていることを課題として認識し、さらに取り組みを強化していきます。



採用活動

採用活動は、就職情報サイトや当社ホームページで情報開示しており、会社説明会や工場見学なども開催し、積極的に活動しております。採用担当者とリクレーターが各大学への訪問や、企業合同説明会等にも参加しております。会社説明会では若手従業員がリクレーターとして「職場の雰囲気」や「どのような仕事をしているか」等お伝えし、更に学生の質問に誠意を持って答えています。また、工場見学では、製造や開発、品質保証、生産技術部門などの実際の現場と、仕事の内容を見てもらい入社後のイメージを明確に持ってもらうようにしています。



C U S T O M E R

お客様

ユーシンは、「人が触れるもの」を作る会社です。自動車部品をはじめ農業機械や産業機械の部品、住宅機器などお客様の暮らしを支える身近なものを作り続けることを使命として、企業活動を展開しています。

品質方針

グローバル品質保証体制の確立

- 「世界に通じるモノづくり“日本のモノづくり”を海外の全拠点に展開」
- 日本的品質・モノづくりの原点に立ち返り、改善に取り組む

品質向上に向けての取り組み

品質方針を遵守し、お客様に高品質で安定した製品をお届けするために品質に対して4つの重点施策を設定し、品質向上に取り組んでいます。

①自動車関連拠点では、IATF16949に準拠した品質保証体制を構築し運用

お客様に約束した品質の裏付けを行う体系的な活動を行い、工程ごとに品質を作り込むプロセス管理体制への進化&展開をしています。

②「社長語録」のグローバル展開

世界のどの拠点においても一致した具体的な改善展開を目指すために、社長語録を世界の各拠点に展開し、従業員への浸透を図っています。

③新規立ち上げ時の量産品質確保

新規立ち上げ時には節目ごとに、設計審査、部品審査、妥当性試験を繰り返し設計品質を確保しています。また、過去の不具合情報のデータベースを構築し、効率的な検証システムを導入することで不具合発生を低減します。

④5M変化点管理の運用強化

5Mにおいてどこがどのように変化したのか、変化の理由を検証し、履歴を明確にすることで、品質の維持・確保に取り組んでいます。

グローバルな視点での教育の実施

グローバル教育方針

世界に拠点を持つユーシンではグローバルにおける品質向上にも注力し、従業員に対して教育、研修制度等を整備しています。

- 国籍(言語)に対応した教育道場での、原理・原則、正しい作業、不具合事例の教育
- 広島工場(マザー工場)での海外拠点管理者の研修。研修を受けた管理者による各拠点への日本のモノづくりの展開

C L I E N T

取引先

グリーンパートナー制度や法規・法令の遵守等の考えに基づき、国内外で品質・コスト・環境の面で優れた資材の調達活動を展開しています。

グリーンパートナー制度の導入

グリーン調達ガイドラインを設け、環境への負荷低減を推進するために全ての購入品を対象に取り組みを行っています。環境方針を設定し、一定の基準をクリアした取引先をグリーンパートナーとして登録しています。

紛争鉱物への対応

国際社会において、アフリカの紛争地帯での鉱物資源の採掘が紛争の資金源になる可能性が指摘されています。当社は紛争鉱物関連規制に沿って、取引先と協力し紛争鉱物調査、理解・啓蒙活動等に取り組んでいます。

SOCIAL CONTRIBUTION

社会貢献

地域社会の一員としての自覚を持ち、地域の皆様や従業員の家族が、安心していきいきと暮らせる街づくりに貢献しています。

平成30年7月豪雨時の取り組み

●寄付

2018年7月に発生した記録的な豪雨により、広島県は大きな被害を受けました。広島県呉市に工場を置く地元の企業として、地域住民の皆様の一日も早い復旧にお役立ていただきたいとの思いから、広島県呉市、広島県安芸郡海田町、広島県安芸郡坂町に対して総額500万円の寄付をいたしました。



呉市表敬訪問

●渋滞緩和対策の実施

幹線道路やJR呉線の寸断による大規模な交通渋滞が発生していたため、マイクロバス6台と大型バス1台をチャーターした企業通勤バスや時差出勤の導入、従業員による相乗りを推奨することで渋滞緩和に貢献し、呉市より感謝状を頂きました。



呉市からの感謝状

●災害避難所の場所提供

呉市から要請を受け、当社の一部施設を一時避難所として地域住民の方へ開放し、計115名の方が避難されました。

国内の緑化推進に向けて

公益社団法人 国土緑化推進機構の緑の募金活動に協賛し、募金を通じて国内における緑化推進に貢献しています。2018年度は10万円の寄付を行いました。

食堂の開放

広島工場では、地域住民の方々にも利用していただけるよう社員食堂を開放しています。野菜は地場野菜を使い、魚は呉市場から仕入れ、常に新鮮な食材を使って料理をしているため、皆様に大変好評です。



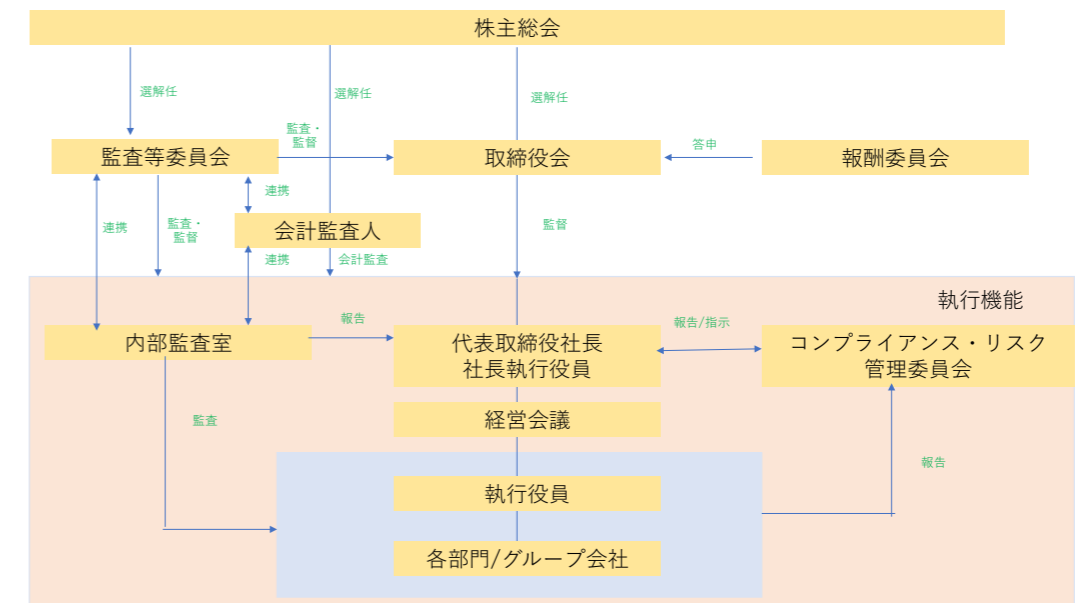
G O V E R N A N C E

ガバナンス

健全な経営の推進と社会的信頼に十分に応えるために、コーポレート・ガバナンスを重要な経営課題と位置づけております。

ガバナンス体制

取締役の職務執行の監督等を担う監査等委員を取締役会の構成員とすることにより、取締役会の監査・監督機能を強化し、コーポレートガバナンスを一層充実させるとともに、業務執行を行う取締役及び執行役員への権限移譲により迅速な意思決定を行い、経営の効率を高めるため、2018年3月より監査等委員会設置会社に移行しました。また、経営の合理化及び効率化を目的として、執行役員制度を導入し、執行役員が日々の業務執行を行う体制をとっております。



取締役会

取締役会は、取締役9名で構成され、原則月1回開催するほか、必要に応じて臨時開催しております。ユーシングループに係る基本方針並びに重要な決定事項について審議、決定するとともに、業務執行取締役を主な構成員とする経営会議へ委任した業務執行の決定について報告を受け、業務執行取締役の職務執行と執行役員の業務執行を監督しております。

社外取締役

中立な立場で当社経営に有益な意見や率直な指摘をいただける方を社外取締役に選任しております。なお、現在の社外取締役3名全員は、当社の「社外役員の独立性基準」を満たしており、いずれも当社との間に特別な利害関係はなく、一般株主との利害相反が生じるおそれはないと考えています。これを踏まえ、当社は、この3名全員を株式会社東京証券取引所に独立役員として届け出ております。

役員報酬

役員報酬決定に係るプロセスの客観性及び透明性を確保するため、取締役会または取締役会から一任された代表取締役の諮問機関である報酬委員会を設置し、取締役(監査等委員である取締役を除く)の報酬については、当該報酬委員会による検討の結果を尊重して取締役会で決定しております。報酬委員会の委員は、取締役会が取締役の中から選任しておりますが、その半数以上は社外取締役とし、議長は社外取締役が務めることとしております。監査等委員である取締役の報酬については、監査等委員である取締役の協議によって決定しております。

内部統制

コーポレート・ガバナンス強化のため「内部統制に関する基本方針」を取締役会で決議し、コンプライアンス・リスク管理体制を整備しています。業務の有効性及び効率性の向上、財務報告の信頼性、法令遵守、資産の保全を図っております。

COMPLIANCE コンプライアンス

法令を遵守し、企業の社会的責任を正しく認識し遂行していくために、

コンプライアンスマニュアルにおいて「ユーシン行動規範」及び「ユーシン行動指針」を制定しています。

国内外のグループ全体でコンプライアンス意識を向上させるため、各種の教育プログラムを実施しています。

推進体制

公平性・透明性のある企業活動を行い、社会的責任を果たし経営リスクの多様化に的確に対応するため、「コンプライアンス・リスク管理委員会」を設置しています。国内・海外の全拠点から毎月コンプライアンス報告を受けて、月に1回、委員会を開催し、グループ全体でコンプライアンスの徹底を図っています。

内部通報制度

コンプライアンス違反行為、またはそれと疑われる行為を早期に把握し、適切なる措置を講じるため「企業倫理ホットライン制度」を設けています。従来の社内窓口に加え、2017年より外部弁護士による外部窓口を設けました。さらに、海外の子会社にも同制度を順次導入しています。

情報セキュリティ

「情報セキュリティ方針」を規程に定め、「ユーシン・グローバル・ネットワーク」を介して接続されるコンピュータにより各拠点間を流通する情報やシステム及びコンピュータ、ネットワーク及びその機器などの情報システムを第4の資産と位置づけ、保護・管理することを定義しています。また、「情報セキュリティ方針」に準拠した社員教育を実施しており、人的被害を防ぐためにも第4の資産の保護・管理を徹底しています。

また、組織的に情報セキュリティ委員会を設置して、異常時の対応フロー等を定義して活動しており、体制面の確立も実施しております。

知的財産の保護

保有する知的財産権を適切に利用しその権利化及び権利の維持に努め、第三者の知的財産権を尊重することを知的財産活動の基本方針として、知的財産権の保護・活用に取り組んでいます。

コンプライアンス教育

企業不祥事発生の防止等を目的として、社員教育に取り組んでいます。

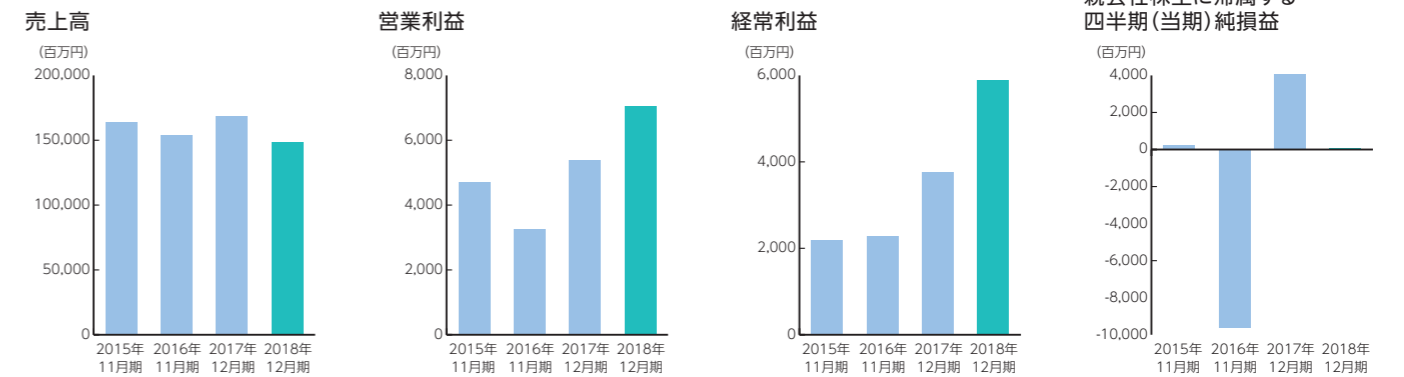
2018年度は、広島工場(テレビ会議システムにて、浜松工場、大宮営業所にも同時配信し、総勢90名前後が参加)と、国内子会社において、下請法に関する研修を実施し、下請法の概要や日々の業務で気をつけるべき点などについて注意喚起を行いました。また、新入社員向けにコンプライアンス研修を実施したほか、海外長期出張者向けに競争法の勉強会を開催しました。

そのほか、2018年度初の試みとして、ユーシン役員及び社員600名超を対象として、eラーニング形式によるコンプライアンス教育(コンプライアンス一般・情報セキュリティ分野)を実施し、対象者の99%以上が受講いたしました。



研修の様子

財務ハイライト



(百万円)

	2015年11月期 (2014年12月～2015年11月)	2016年11月期 (2015年12月～2016年11月)	2017年12月期 (2016年12月～2017年12月)	2018年12月期 (2018年1月～2018年12月)
売上高	164,229	153,894	168,632	148,566
営業利益	4,715	3,269	5,397	7,049
経常利益	2,176	2,271	3,754	5,899
親会社株主に帰属する四半期(当期)純損益	226	-9,659	4,086	47

※2017年12月期は、決算時期変更により、13か月間となっております。

ネットワーク

